JAC北九だより

NO.53 (平成22年第3号)

社団法人 日本山岳会 北九州支部 Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club 発 行: 社団法人日本山岳会北九州支部 事務局: 北九州市門司区新原町12-27

関 口 興 洋 方

L·FAX 自宅 093-382-6436 携帯 090-8919-6776

発行人:大庭常生

編集人:伊藤久次郎・関口興洋 印 刷:山口県山口市水の上町2-25

内藤製本所

「祝日法」改正案の早期実現「山の日」制定運動を推進しよう

No.11977 溝 部 忠 増

山を愛する岳友はもちろん、森林保護と取り組んでいる国民ひとしく渇望しているのは、「山の日」の登場だろう。「海の日」があるのに、なぜ「山の日」がないんだろう。こんな思いから「山にちなむ国民の祝日を是非に」と、尾上昇日本山岳会会長の提唱から、わが本部でもプロジェクトチームが早速「山の日」制定をアピール会員への呼びかけをはじめている。

一方環境庁でも、全国を5ブロックに分け、ずらしながら5連休を取る「休日分散化」について祝日法改正案を、今秋の臨時国会にも提出する準備をすすめている。この改正案に含めて、今こそ「山の日」を実現する、タイミングのいい時である。「山の日」の登場をめざす私案をご披露し、みなさんのご賛同をえたい。

- ① まず「山の日」に対する多くの方々の関心を深めるため、組織の全支部を動員、制定実現への署名運動を展開する。もちろん、山岳に関わるいろんな団体や森林保護と取り組む各種組織、自然保護団体にも協力を求める。
- ② 山梨県などの先例をいかし、各支部単位に独自の「山の日」をつくり、関連のキャンペーンや記念イベントを展開する。全国的にこの運動が広がれば、いずれの日を「山の日」にすれば適当か、の意見調整も進むだろう。
- ③ 「山の日」に対する小・中学生の啓発をするための副読本を作る。高校生以上・一般向けの教材も考える。これらによって、登山への意識を高め、さらに、登山のもたらす効果など、わかりやすく解説。登山への参加を呼びかける。子供たちを通じて、大人の日本山岳会への加盟参加の輪も広げる。



- ④ 登山の経験もあり、山への理解の深い皇太子夫妻を総裁に仰ぎ、総務・環境・文部科学・農林・国土交通など、関係省庁・自治体を網羅した祝日法改正案実現の推進組織を作る。
- ⑤ 「山の日」PRなど推進のため、広くポスター・詩歌・作文などを募集、これを各地に頒布、普及を図る。森林文化協会・日本山岳文化学会、関係自治体などに協力を求め、さらにスポンサーには住友林業など多くの関連企業の協力を求める。
- ⑥ 祝日法改正案実現のため、活動を進める。衆参 両院はもちろん、各政党・関係自治体に呼びかけ、 「推進議員連盟」を組織する。
- ⑦ JACプロジェクトチームの活動を推進するため、 日本山岳協会、日本山岳ガイド協会などとともに、 有識者を集めて山の日制定の特別委員会をつくり、 制定推進をめぐる問題点を協議、その結論を早速 行動に移す。
- ⑧ 以上のいろんな事業を、推進普及するため新聞・テレピ・ラジオを通じての広報・報道はもちろん、PR広告に努める。スポンサーが必要ならば自然保護・森林関連の企業に呼びかける。

「山の日」制定協議会が作成したリーフレット



わか国の国土は、フ創近くが広い意味での山であり、その多くを森林が優っています。古くから日本人は山を信仰の対象として崇め、森林の豊かな恵みに感謝し、自然とと もに生きてきました。山の恩恵は渓谷の清流を生み、わが 国を囲む海へと流れ、生きとし生けるものを育むだけでは なく、豊かな心をも育んできました。わか国の文化は、「山 の文化」と「海の文化」の融合によってその根幹が形成さ れてきたと言われています。

わたしたち山を愛する5つの山岳団体は、国民祝日とし ての「山の日」制定を提案します。「山の日」は、日々の生活と文化に結びついた山の恵みに感謝するとともに、美し く豊かな自然を守り、育て、次世代に引き継ぐことを国民 のすべてが銘記する日です。この運動を通じてわたしたち は、登山者の安全と健康に寄与し、登山の楽しみを広く伝 えたいと念願します。すでに祝日となっている「海の日」 と対をなして、日本に住むすべての人々が、山という自然 を見つめなおし、深いかかわりを考える日にしたいと思い

わたしたちの提案に賛同され、より多くの方々、団体より、 ご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

-----「山の日」制定協議会

日本山岳協会 http://www.jma-sangaku.org 日本勤労者山岳連盟 http://www.jwaf.jp 日本山岳会 http://www.jac.or.jp 日本山岳ガイト協会 http://www.jfmga.com 日本ドマラヤンアトベンチャートラスト(HAT.I) http://www.hat-i.jp

オモテ面の答えです

③ 15000以上 「日本山名総覧」(武内正著 白山書房刊)によると、2万5000分の1地形図に載っている国内の山の数は1万6667。単 網に47都道府県で割ってみると、平均で355もの山が各県にあることになります。実際には地図に載っていない山もあるので、その数はさらに多くが見込まれます。具体的に数えてみると、その多さに驚かれることでしょう。

○ 402m 南アルブス(赤石山脈)北郎、山梨県に位置する標高3193mの山が北岳です。富士山は静岡・山梨の県境にあるため、山梨 県は日本で1位・2位の山をかかえることになります。②の南岳(3033m)、③の西岳(2758m)はともに北アルブス(飛 撃山脈)の山で、北岳が南アルブスに、南岳が北アルブスにあるというのも興味深い話ですね。 ちなみに南アルブスには東 岳(悪沢岳・3141m)という名前の山もあります。

3 5m 大阪の南港にある天保山の標高が5m(厳密には4.5m)。天保2年(1831年)安治川の土砂を積んで作られた人工の山で、 2万5000分の1地形図の中で、最も低い山です。5なみに10m未満の山は、全国に4山あります。仙台市の日和山 (6.0m)、徳島市の弁天山(6.1m)、堺市の蘇鉄山(6.8m)。自然地形で最も低い山は日和山です。

② 21 日本にある3000m以上の山は次の21座となります*。富士山(3776m)、北岳(3193m)、奥穂高岳(3190m)、間ノ岳(3189m)、槍ヶ岳(3180m)、東(栗沢や3ミセ)岳(3141m)、赤石岳(3120m)、涸沢岳(3110m)、北穂高岳(3106m)、大喰を3189m)、積ヶ岳(3131m)、前穂高岳(3090m)、中岳(3084m)、荒川中岳(3083m)、御瀬山(3067m)、塩見岳(3052m)、農馬岳(3013m)、東殿岳(3003m)、仙丈ヶ岳(30033m)、南岳(30033m)、東殿岳(30026m)、立山(大支山)(3015m)、聖広(3013m)。こうして見ると、富士山は別格の高さであることがわかりますね。

① 芥川龍之介 今から約100年前の明治42(1909)年、芥川龍之介は東京府立三中5年生のときに、友人らとともに案内人を雇って槍ヶ岳 に登ったという記録が残っています。そのころの経験はのちに「河童」(上高地には当時から河童橋という名の橋があり ました)に描かれました。ちなみに夏目漱石は阿蘇山に登って小説「二百十日」の素材にしています。太宰治は津軽富士(岩 木山)をよく描きましたが、登ったことがあるかどうかは定かでありません

6 ① 2番目 国連食糧農業機関(FAO)の統計(2005年)によると、国土に占める森林の率は、先進国ではフィンランドがトップで、73.9%、日本は68.2%で2位。3位がスウェーデンで、66.9%。1億3000万人に近い人々が森と共存する国は世界に類がなく、〈自然大国〉と呼ばれてもおかしくありません。 なお、世界の平均森林率は30.3%です。

① 英国技師ウィリアム・ガウランド 化学・冶金技師のウィリアム・ガウランド(ゴーランドともいう)が、ヨーロッパのアルフス山脈に似ていることから「日 本アルプス」と命名しました。ヨーロッパアルブスのような大きなスケールではなく、また氷河もありませんが、岩壁や山 稜あるいはカールといった多様な地形に加え、豊富な高山植物の数々や雪渓が、世界的にも希にみる美しい景観を作ってい ます。日本人にはあまりにも身近であるため意識されていませんが、日本の山は世界に誇るべき美しさです

8 屋久島 屋久島は「月のうち、三十五日は雨」といわれるほど雨が多く、1999年には全国最多記録の年間降水量6294.5mmを 記録しました。山中ではさらに多く、1万mm近い雨量になります。2000m近い山々に大量の雨が降り注ぐため、亜熱帯 から亜寒帯に及ぶ多様な植物相がみられ、豊かな流水や湧水に恵まれています。屋久島だけではなく、日本列島に降り注ぐ 豊富な雨は、森を潤し、この国に住む人々の生活をはじめ生きとし生けるものの命を育んでいます。

でいる。 その山も存在します。韓国岳(1700m)は、宮崎県と鹿児島県の境にあり、霧島火山群の最高峰。 外国山(258m)は岡山県 の久米高原にあります。日本国 (555m) は山形県と新潟県の境にある山で、その昔、大和朝廷が東征の折、ここを「日本国」 (日本国と蝦夷地との境)としたなど諸説があります。山名から歴史をかいま見ることができます。

10周年記念行事のため、支部長ら留任 平成22年度 北九州支部通常総会の報告

事務局 関口 興 洋



小倉リーセントホテルで開催された、北九州支部第11回通常総会の参加者

平成22年4月24日(土)小倉リーセントホテルに おいて、北九州支部の第11回通常総会並びに関連行 事が開催されたのでご報告します。

1. 通常総会

定刻午後2時、大楠副支部長の開会の辞で総会が 始まった。西村委員より会員の状況と総会出席者の 状況につき以下の報告が行われ、総会が成立してい ることが確認された。

平成22年3月31日現在の在籍者:本部会員81人、 支部会員79人、計160人

総会当日の出席者:本人48人、委任状提出者60



議長を務める大庭支部長

人、計108人

議事に入る前に大庭支部長よりあいさつが行われ た。今年は支部創立10周年の節目に当たるので、 いろいろな記念行事を計画し推進中である。

- ○10月30日(土)記念式典と講演会、懇親会の開催。
- ○記念登山、5月(海外)韓国智異山(実施済み)、 9月(国内) 槍ヶ岳集中登山
- ○記念誌の発行

この機会に多くの会員が記念行事に参加していた だくようお願いしたい。

その後、議長に大庭支部長を選出し、議案の審議 が行われた。

第1号議案 平成21年度事業報告

(原委員から報告)

第2号議案 平成21年度収支決算報告

(馬場委員から報告)

第3号議案 平成21年度監査報告

(大城戸監事から報告)

以上の3議案は一括して審議してもらいたいと議長 より提案があり、そのように議事が進められた。

事業報告に関し、園川会員から、会員が160人も いるのに例会山行の参加者が少ないのではないかと の指摘がなされた。これに対し、例会山行に参加し ない場合でも、各々のグループでそれぞれの都合に あわせ山行しているケースもあると説明が行われた。 以上の3議案は一括審議の結果、承認可決された。

第4号議案 役員改選(案)の審議

大楠副支部長から、支部規約では支部長、副支部 長とも2期4年の任期終了をもって退任することになる が、今年は支部創立10周年の記念行事を10月に執 り行うことになっており、その際、いままで準備をす すめてきた執行部の幹部人事が総入れ替えとなると、 継続性を維持できなくなり、今回は特例として留任を 認めていただきたいとの要請がなされた。本件事情 に鑑み、第4号議案が承認可決された。

第5号議案 平成22年度事業計画(案)の審議 (山田委員から説明)

第6号議案 平成22年度収支予算(案)の審議 (馬場委員から説明)

9月の10周年記念登山(槍ヶ岳)の日程を一部訂正して後日配布することで、以上の2議案とも承認可決された。

その他

- (1) 会員への連絡・通知を行うにあたり、紙・インクを省くためにパソコンを使用している方にはメール配布したらいかがとの問題提起がなされた。
- (2) 10周年記念行事の寄附金の応募状況はいかが。現在89人の応募があり残高は240,000円
- (3) 新役員の紹介

磯野委員、室津監事の紹介が行われた。 閉会の辞 伊藤副支部長より閉会のあいさつのあと、 10周年記念誌の原稿が少ないので「10周年を振り 返って」をテーマに感想、山行記録などの原稿を書 いて送ってほしいとのお願いがあった。

2. 記念講演

総会終了後の恒例行事として記念講演を一般にも 公開し次のとおり実施された。

講師 日本山岳会北九州支部

園川 陽造 (No.5306)

日本体育協会公認 山岳上級コーチ、

山岳マスター指導員 講演テーマ

山岳遭難対策について <中・高年の事故現状> 中高年登山に関する諸 問題



(1) 中高年登山者の分類 講師 継続型、復活型、初心者

講師の園川陽造会員

型それぞれの特徴・傾向を分析し問題点を提起。リーダーおよび組織の問題点を提起し、リーダーの責任と義務を明示。

- (2) 遭難事故の概要
- (3) 山岳遭難の特徴と未然防止対策 につき、いろいろな角度から懇切丁寧な解説が行わ れ有意義であった。

3. 懇親会(司会 日向委員)

出席者40人。九重、阿蘇、霧島、祖母、開聞の 五テーブルに着席。秦野元支部長の乾杯の音頭で開 宴。出席者からの差し入れのお酒もあり、飲むほど に楽しい交流の輪がひろがり盛り上がる。壇上では 「坊がツル讃歌」の歌声も響き宴たけなわとなる。 最後に新入会員の紹介がおこなわれ中締めとな った。

総会参加者

(本部会員)秦野一彦 園川陽造 大庭常生 日向祥剛井上 佑 溝部忠増 大城戸昌敏 原 広美 大楠益弘 板倉健一 伊藤久次郎 西村信子 濱松禮子 浦田和夫 馬場基介 磯野文雄 関口興洋 藤田 傳 片山俊昭 片山礼子 橋本健一郎 横山洋子 西村俊二 太田 満室津健次 山田武史 高城季美子 内藤正美 中岡邦男丹下洽 牧寛 大木康子 榊 俊一 丹下香代子 大内喜代子 椋本逸雄 平野一幸

(支部会員) 和田英昭 坂本千佐子 伊藤卜モ工 池田智彦 大神信生 福田陽子 中野洋子 縄田正芳 竹本正幸 竹本加代子 原田常代

合計48人

10 周年記念誌 製作費募金のお願い

一口 千円以上、何口でもOK!

申し込み受付は、支部会計担当馬場基介(TEL093-371-8656)まで。各委員まで連絡下されば、振り込み用紙をお送りします。個人、団体を問わず受理します。募金された方は記念誌にお名前を掲載させていただきます。

月例山行記 4月17日

右田ケ岳(426気)~三谷森林公園

No.14699 稲富 榮



右田ケ岳山頂(426気)で

4月にしては、気温も低く風も なく絶好の登山日和。定刻9時2 0分右田小学校駐車場から登山 口に向かった。

右田ケ岳近辺の山特有の花こ う岩がむき出しになった岩稜帯 の尾根を歩きながら、花こう岩の 自然石に彫り刻まれた幾つもの 大きな観音像を見て頂上に向か う。頂上には何組かの老若男女 がいる。1日に2度も3度も登る人 もいるとのこと。標高は426 行と 高くはないが、防府市民にとって 身近な山のようである。

頂上には11時前に到着するも、 昼食には少し早い。写真を撮る 人、行動食をとる人、頂上直下 の直登ルートを調べる人それぞ れに楽しんでいる。頂きには大 きな一枚岩がデンと座っており、 ここでは岩の本当の大きさを知る 事ができる。頂上からの防府市 内の一望は感嘆の一語である。 昨年7月の死者をも伴った豪雨災 害のつめ跡が残る山肌は、遠く に白い幾筋もの土砂が崩れて いた。

11時過ぎ、三谷森林公園への 縦走路に出発する。縦走路は樹 林帯のため木漏れ日も柔らかく 出る汗も止まる。途中昼食を挟 三角点を確認する。ちなみに右 田ケ岳は四等三角点である。そ う言えば先ほどの右田ケ岳での こと『ここの三角点は頂上より低 い所にある』と、ある老夫婦の 会話を思い出した。私は『三角 点は山の頂上を示すものではな く、地図を作製する基準となるポ イントだから、必ずしも頂上にあ る必然性はなく見通しの良い所 に置き、平地にもありますよ』と 答えたところだった。

縦走をさらに続けると樹林帯は 切れ、太陽はまぶしく照らしてい た。途中、山城山に立ち寄る。 頂上と言っても何の変哲もない。 近くの木の枝に『山城山260行』 と書いた木札が今にも落ちそうに 無造作にかけてあった。

山城山近くの大きな一枚岩で できた展望台で休憩を取り三谷 森林公園登山口へ向かう。急坂 道を下ること約30分で登山口に 着く。時刻は14時20分。右田小 学校駐車場から三谷森林公園ま で(右田ケ岳~三谷山~山城山) の縦走は快適な天気の下、約5 時間の行程を計画通りに終えた。

参加者

原 広美 伊藤久次郎 関口興洋 横山洋子(CL) 山田武史 内藤正美 榊 俊一 平野一幸 坂本千佐子 室田安代 森本信子 倉本とき子 福田陽子 稲富 榮 中野洋子 (計16人) 赤瀬栄吉

陶ケ岳岩登り訓練 4月18日

剱岳「点の記」をたどるルートに備え

No.13499 伊藤 久 次郎

右田ケ岳に登った夜、私は陶ケ 岳の9合目小屋に泊まり込んだ。1 人では寂しかろうと関口さんが酒の 相手をしてくれた。翌日(4月18日)、 武永、原、福田、中野さんらが登っ てきた。そして、武永指導員のも と、岩登り訓練を実施した。これは、 6月後半の劔岳バリエーションルー トに挑戦するための訓練。すでに3 月、恐羅漢山で雪山による滑落停 止訓練も実施してきた。劔岳の挑 挑戦結果については、8ペー ジに掲載している。



高さ約20粒位のところを登る中野 さん。下で確保するのは伊藤Q

広島支部との交流登山

5月29日、30日

英彦山 山開き前夜祭と安全祈願祭に参加

No.13471 板 倉 健



福岡県の英彦山(1,200年) 頂上に勢揃いした広島支部と北九州支部のメンバー

5月29、30日に英彦山の山開 き前夜祭・安全祈願祭が行われ ました。

広島支部から杉村支部長以下11 人の方々が参加され、大変有意義 でした。広島支部の方は運動公園 でテント泊、北九州支部はキャンプ



運動公園でテント泊する広島支部

場のバンガローです。

29日午後、広島支部の方々が 到着し、テント場で歓迎会です。二 度目の交流登山で、話がはずみま した。

夕方からキャンプ場の広場で前 夜祭がありました。今年の話題は

> 添田町の山本町長でしたが、 山本町長が会場に到着し、 車を降りて姿を現すと歓声と 拍手が起こりました。現在新 聞紙上を賑わせていますが、 山本町長の肝いりの山開き行 事とのことで、思いを強く感じ ました。あいさつの中で、前 夜祭に参加していた戸畑工 業高校の生徒たちに、「自

分は今、世間をいろいろと騒がせ ていますが、皆さんはしっかり勉強し て、私の様にならないでください」との 話がありました。

今年のあいさつが一番よかった との評でした。最後は恒例の炭坑 節をキャンプファイヤを囲んで踊り、 盛り上がりました。



前夜祭会場

北九州支部のバンガローで交流会

30日は銅の鳥居に集合し、中岳 に登りました。私は35年振りのこの コースからの登山でしたが、とても 新鮮でした。参道の両側にある多く の宿坊跡と案内板を見ながら、改 めて英彦山の山岳宗教の歴史を学 びました。関口事務局長の案内で 杉田久女の句碑を拝見し、心深ま る思いでした。山は文化です。中 岳頂上付近は、台風の影響で木が 少なくなり、以前の面影がなく、山 が荒れていました。上宮での安全 祈願祭には伊藤副支部長、杉村広 島支部長も本殿に上がり玉串を奉 納され、登山の安全を祈願しまし た。最後に関口事務局長の万歳三 唱で安全祈願祭は終了しました。 広島支部の方とは、次回の交流登 山を約束して別れました。

29日の懇親会の後、テント場まで広島支部の方を送った時の会話の中で、「北九州の方はなぜテント泊をしないのですか」と問われました。単純な質問ですが、山登りの基本的な問題だと思います。広島支部の方に感じたのは、ザックの上手なパッキングでした。キスリングの時代はパッキングを見れば、経験が判るほどでした。ナイロンザックに替わってからはそれ程ではありませんが、きまっているザックは気持ちのいいものです。

皆さん、かっこいい山屋になりま しょう。

参加者(合計36人)

(北九州支部)大庭常生(支部長) 日向祥剛 原 広美板倉健一 伊藤久次郎 西村信子 磯野文雄 高畠拓生 馬場基介 関口興洋 藤田 傳 西村俊二 山田武史 内藤正美 牧 寬 武永計介 榊 俊一 大内喜代子 椋本逸雄 平野一幸 稲富 榮 森本信子 中野洋子 縄田正芳赤瀬栄吉(計25人)

(広島支部)平田恒雄 藤川昌寛 兼森志郎 兼森路子 杉村 功(支部長) 國枝忠幹 三好 勇 森 茂樹 上岡晴美 朝尾博謙 朝尾洋子(計11人)

広島「山の日」県民の集いに参加して

山の保全が 豊かな海につながる

No.11990 原 広美

平成22年6月6日、北広島町標 高800m八幡高原にて「第9回山 の日の集い」、県民あげての大イ ベントに参加させて頂きました。

日本山岳会が山の日制定に向けて取り組んでいますが、私たち会員はどのような形で協力すればいいのか試行錯誤の現在です。 このたび広島支部から参考になればとのお誘いを頂き行って参りました。

開会式のあと既に準備してある



作業前の開会式

のこぎりを借りて森作りの作業です。JAC会員33人が3班に分かれ各自がのこぎりとヘルメットを装着、注意事項としてマムシに十分気をつけるよう担当の方から説明がありました。ヤマボウシ、オオカメノキや大木を残して直径15cm以下の樹木や下草を伐採、太陽の光が土に届くように整備をしました。登山やハイキングを楽しむのも良いが、山の保全が最終的には豊かな海につ

ながることにもなると思うと体も軽



北九州支部から参加の4人

い。夕食も美味、ピザやパン、ラムの焼き肉、女性会員の手作りのスープやサラダは最高でした。 「斎山荘」では宿泊者全員集合、

「八幡高原」は泥炭であるとの講義があり感動する。また夜空が美しく 庭に出て星座の勉強会など自然の素晴らしさを教えていただく。岐阜支部を含め3支部の交流も深まり秋の北九州支部創立10周年記念で再会することを約束して眠りに就いた。

快く私どもを受け入れてくださった兼森総務委員長ご夫妻には大変お世話になりました。皆様とお別れした後立ち寄った'霧が谷湿原'の満開のカキツバタ大群落は見事で、目に焼き付けて帰途に着く。

参加者: 内藤正美 原野幸雄 吉田克己 原 広美 JAC-YOUTH バリエーションルート

梅雨の晴れ間をかいくぐり 劔岳「点の記」ルートから登頂!



月劔 듄 後立山から撮影 》(伊藤Q) 。二〇〇九年九

バリエーションルート・200%達成!

長次郎谷を登り、平蔵谷を下る

青年部ひとり No.14476 武永 計介

昨年6月の広島支部との合同 登山懇親会で、

「北九州支部もアルプスのバリ エーションルートを攀じろう」

「日本山岳会らしく、映画、点の 記で剣岳初登頂を目指した長次 郎谷はどう?」

「できれば若手を募集しては」 と話が盛り上がりました。

会報で呼び掛けをし、集まっ たのは青年1人・熟年2人・乙女 1人の4人です。

雪山訓練を恐羅漢山で、岩稜 訓練を陶ヶ岳で行い準備を整えま した。また、資料を集め計画を 練りました。

タイミングとしては、メンバー に初心者もいますが、岩と雪の 殿堂剣岳の名に恥じない、残雪 期とし、雪の安定する6月後半で、 行動時間が長く取れる夏至としま した。

登はんに専念するためにテント はあきらめ、小屋泊と決めました。 ただ、時期的に小屋は営業して いないので、剣山荘にお願いし て開けて頂きました。

6月23日夜、いよ いよ出発です。都合 で1人欠けましたが 元気に3人で出発し ました。

現地に入り、偵察 して見ると、別山尾 根の剱沢から一服剱

を経て平蔵のコルに至る登山道 には不安定な残雪が多く、下山 ルートを平蔵谷に変更しました。

25日3時40分。いよいよ剣沢 を出発しました。前方には鹿島槍 ケ岳が朝焼けに染まっています。 長次郎谷出合で朝食後、登りに 入ります。クレパスもなく、晴天 の空の下、最高のコンディション です。アイゼンやピッケルを使い こなし、上部ではロープ等による 安全確保を行い、無事りょう線に 出ました。はるか南には富士山 も見え、岩と雪と青い空の素晴ら しい景色を堪能しました。北方稜 線を剣岳山頂に向かい、12時に 登頂しました。今回の目標を200

1年前からバリエーションルートをめ ざそうと、若者に呼びかけていた劔岳 「点の記」の長次郎谷からの登頂に、6月 25日梅雨の晴れ間をかいくぐって、青 年部ひとりの武永計介、若手女性部代 表の福田陽子、老年部代表の伊藤Q次 郎の3人が挑戦! 無事登頂を果たし た。さらに下山は平蔵谷を降り、劔沢 大雪渓を登り返した。

今回の成功は、リーダーである武永氏 が過去の体験データーから梅雨の晴れ間 を予想、これが見事的中し下山まで好天 に恵まれたこと。反省点は、老年が昔使 っていた無防水の重い革靴と雪の団子防 止板がない旧式アイゼンなどが、青年部 の足を引っ張った。

これを機にさらなる若手の参加を期待 している。希望者に対しては、青年部ひ とりの武永会員が、岩登り訓練からザイ ルワーク、冬山訓練、ピッケルによる雪 渓上での滑落停止訓練などその技術指導 にあたる。(老年部代表 伊藤Q)



長次郎谷の急雪渓を登る青年と乙女

%達成しました。

下山は、カニの横ばい経由で 平蔵のコルから平蔵谷を下山し ました。18時に剣山荘へ到着し、 最後に、今回の山行は高齢化の 進む支部に取って良い刺激にな ったと思います。

途中出合った、東京の青年が 言っていました。

「東京では若者の登山がはやっ ている」「山岳会に入って、技術 を習いたい。どこに連絡すれば 良いのですか?」と。

今後も、バリエーションルート へ困難な時期に挑戦し、若者獲 得に努力できればと思います。

バリエーションルート・ひとこと ふたこと。。。 達成感・ドキドキ感に大満足

乙女部代表 北九422 福田 陽子



長次郎谷から劔岳に登頂。2999年の山頂で。

会報 ~お誘い "バリエーショ ンルートをめざそう"青年部ひと り~ のコーナーが目にとまった。

青年部とは無縁の自分だが、 興味をもったので恐る恐る連絡を したら、意外にも門前払いされな かった。バリエーションルートは初 めてなので、情報収集に余念が なかった。

本番当日、美しい朝焼けをし ばし見つめ、「時間がかかっても 必ず登頂して無事下山する」と、 心に言い聞かせ、長次郎谷に向

前進するほどに傾斜が増し、右手 にそびえ立つ八ツ峰を見上げる と、クラクラして後ろにひっくり返 りそうだった。熊ノ岩からはコンテ

ニュアス歩行。これでもかと思うく らい傾斜が強くなった。立ち休憩、 雪をかき集めて水を作る。無駄に 動かず、よそ見は禁物。そこは、 天然の滑り台。尾根に出てからは、 アイゼン・ザイル等をはずし、し ゅん険な岩を慎重に登っていく。 所々に不安定な小岩もあり、手で 確認しながら3点確保。高度感た っぷり、スリルあふれる所だ。山 頂は我々3人の貸し切り。360度 の景色は、この上ないご褒美だ。

下りは、平蔵谷ルートに変更に なった。これがまた、谷底にダイ ビングするかのような急降下、傾 斜が緩くなった所で、1個のラーメ ンを3人で食し、ホッと一息。岩を 伝う水がこんなにおいしいとは・。 安堵もつかの間、剣山荘までの長 い登り返しが残っている。これが 一番きつかった。が、久々の達成 感・ドキドキ感に大満足である。

今回のチャレンジは、青年部 ひとり・ベテラン部代表の指導 の下、成し遂げられ、感動を共 有することができた。勇気ある 御両人に感謝申し上げたい。



故 室津健次氏

日本山岳会北九州支部監事、室津 健次(No.13986)会員(74)が、本年5月 15日、午前10時10分ごろ、日本山岳会北九州支部設立10周年記念の海外遠 征登山で、韓国「智異山」8合目の標高1300行付近をメンバー9人とガイド4人 で登山中、突然心筋こうそくで倒れ、警察のへりで晋州市の慶尚大学病院に 搬送されたが帰らぬ人となった。告別式は5月19日、福岡市で催され、支部長 以下参列者で「坊ガつる讃歌」を捧げ、最後のお別れをした。なお、事故の 概要報告については、10周年記念誌に記録として掲載予定。

(追悼山行記) 北九州支部設立10周年記念 海外遠征記

韓国「智異山」(1,915m)に挑戦して

No.13992 山田 武史

平成22年5月14日午前8時に、 私は博多港の「国際ターミナル ビル」にタクシーで駆けつけたと ころ、すでに椋本さん、平野さん

とガイドの徳永さん(サンサン山 倶楽部)が、先着していた。私 は幹事として早めに行ったのだ が、みな早い。我々の乗る釜山 行き「ビートル」は、10時出港 なので9時集合としていたが、8 時40分には9人全員が勢ぞろい した。

本日より3日間の予定で、北九 州支部の初の海外遠征となる韓 国の「智異山」登山に向けてい よいよ出発です。



智異山登山口で。後列右端が、亡くなった室津健次氏

第1日(5月14日)

定刻に博多を出港した「ビートル」は、12:55に釜山港に到着。 釜山港には、大型コンテナー船が数多く着岸しており、コンテナーの揚げ下ろしクレーンの動きも忙しく、活況を呈している。10数年振りの伊藤さんはおろか、3年振りの関口さんまでも、その発展ぶりに驚いておられた。

税関を無事通過すると、現地 ガイドの李さん(42歳の女性、 美人)の出迎えを受け、マイク ロバスにて、一路「中山里」の ペンションに向かった。

釜山よりの高速道路は6車線であり、程なくして4車線となったがいたる所で拡幅工事中にて、この国の経済発展はすごい。走っている車も、ボロ車はない。高速道路を降りて一般道に入ると、ゲートがあり、口蹄疫予防の薬剤がバス全体に噴霧された。宮崎県は、ここまで徹底していなかったのではないかと思うと、残念に思う。

16時に「中山里」のペンション着。このペンション村は、予想に反して素晴らしいエリアで、建

物もログ造りの平屋が7~8棟建っている。1棟には6~7人収容可能で、オンドルの部屋とシャワーが付いている。

我々は、男性2棟、女性1棟を

んたちの部屋に集まりました。ガイドの徳永さん、李さんも参加して会話に花が咲き、室津さんも豊富な話題を提供し、また、自身も話題の中心になったりで、いつものように盛り上がりましたが、明日があるため初の予定は30分超過したが、21時には2次会を切り上げ就眠した。

第2日(5月15日)

午前6時20分、ペンションをマイクロバスで出発、2分先の食堂にて朝食。この時、更に2人のガイド(50歳前後の男性)が加わることが李さんより説明あった。理由は、今回の登山ルートを変更することにしたので、ボランテアで李さんの友達を助っ人に頼んだとのことだった。



ペンションから見た智異山

与えられ、ゆったりと利用できた。

部屋割り後、各部屋でちょっとくつろいでから、マイクロバスで5分ほどの所に移動して数少ない食事できる料亭に入り、今夜の夕食。焼き肉、キムチ、ニンニク、辛いししとう、等の現地料理に「おいしい」を連発しながら韓国料理を味わいました。

ペンションに帰ってからの2次 会は、ちょっと部屋が広い伊藤さ ルート変更とは、当初の予定は「智異山」の主峰の天王峰から縦走路を2時間平行移動し、チャントモク山荘から谷筋を3時間で中山里に下りる計画だったが、変更案は、チャントモク山荘から更に縦走路を約2時間歩いた所にマイクロバスを回しており、そこが今回の我々の登山の終点の予定だった。

当日も、昨日に続き快晴のもと、

午前7時には朝食を済ませ、7時1 0分に登山口で集合写真を撮った 後、本日参加のガイド2人が先頭 と最後尾に着いて、総勢13人が 元気に登山口を出発した。

この山域は、国立公園になっ ているだけに、登山道も良く整備 されている。また、この日は土曜 日ということもあって、登山者は 非常に多かった。そして、若者 が多い。

ガイドさんの話では、韓国で は20~50才代は健康のため登 山するが、60才以降は健康のた め、家で静かに過ごす由。教育、 文化、宗教面で違いはあれ、我 々も考えさせられますね。

9時35分にお寺(法界寺)の 休憩所着(所要時間は2時間25 分)、軽食をとり、約15分休憩し て9時50分に出発し、急階段を 登り、展望のよい所で眺望を楽し み、一息入れて出発して2~3分 後に、室津さんに急変が起こった。

関口さんの前を歩いていた室 津さんが、突然横倒しに倒れた。 前後にいた、関口さん、伊藤さ ん、私、ガイドの徳永さん、キム さんが駆けつけて声かけまた、 平らな場所に移動させて、徳永さ んが心臓マッサージを行ったが、 既に脈はなかった。

この時、私は「何かしなけれ ば、大変な事になる」と思いな がら、何もできないもどかしさに 押しつぶされ、ただウロウロ、 オロオロするだけだった。

しかし、この間の4人のガイド の行動は素早く、「智異山」に常 駐しているレスキュー隊への出動 要請、ヘリコプターの出動要請 等も迅速に手配されていた。本 当に感謝です。

その後、室津さんはヘリコプタ

ーに収容され、病院に向かった のを見届けてから、改めて本日 の登山中止を全員に伝え、中山 里への下山の途についた。

なお、事故の第1報は伊藤さん の携帯電話より、留守本部の大 庭支部長に報告したがその後は、 今回の窓口旅行会社のサンサン 山倶楽部の栗林社長と大庭支部 長は旧知の間柄という事もあり、 2人の連携により、日本での諸連 絡と手配をしていただいた。

下山の途中で、ガイド李さん の携帯に連絡が入り、室津さん の亡くなった事が告げられた。

覚悟していたが、やはりショッ クは大きい。しかし、残った我々 がまず安全に下山する事が肝心 ゆえ、気を引き締めなおして下 山した。

14時10分に中山里のペンショ ンに着いた我々一行の中から、 室津さんの近くを歩いていた伊藤 さん、関口さん、平野さん、私と ガイドの李さん、徳永さんの6名 が室津さんの収容された慶尚大 学病院に向かうため、14時40分 にペンションを出発。この病院は ペンションから車で1時間の距離 にあるが、遅くとも18時にはペン ションに戻れると思っていたが、 病院に駐在の警察の事情聴取が 長引き、ペンションに戻ったのは 20時20分だった。この間、ペン ションで待っていた4名は心細か ったと思うが、連絡のしようがな かった。

一方、伊藤さんと関口さんの2 人のみが警察の事情聴取を受け たが、延々3時間かかり調書は1 5枚にも及んだ。この時点では死 亡診断書の死因は「不明」とあ り、この内容では今後の処置も 心配であり、2人の事情説明と力 説も警察に通じなかったと残念に 思っていたところ、23時30分ご ろ李さんの携帯に警察より連絡が あり、死因を「心筋梗塞(こうそ く)」に変更したとのこと。これで、 室津さんも明日中に日本に帰れ る可能性が出て来たので、ちょっ と胸をなでおろした。

第3日(5月16日)

午前7時 我々一行8名は、室 津さんのザックとともにペンション を出発し、中山里にて朝食後、 車で1時間を要する晋州市に向か い、市内のホテルに宿泊の室津 さんのお嬢さんを訪ねた。室津 さんのお嬢さんは、昨日午後3時 ごろお父さんの事故を知り、パス ポートを持っていたお嬢さんが家 族を代表して、1人で午後5時ご ろの飛行機で福岡空港から釜山 空港に入り、23時ごろに慶尚病院 に到着し、警察官立ち会いのもと で室津さんと対面し、本人確認 が行われた。この日午前9時ごろ、 ホテルでお嬢さんと会った時にお 嬢さんからの最初の質問は「父 の死は、がけからの滑落です か?。母も家族もその点を一番知 りたいのです」でした。我々を代 表して、関口さんが事故の状況 を説明したが、その説明をお嬢 さんは必死に手帳にメモされて いた。

話は尽きない中で、これから お嬢さんは領事館、警察ほかの 手続きで多忙との徳永さんのアド バイスもあり、午前9時50分にお 嬢さんと分かれ、ホテルを辞した。

我々一行は釜山に向かい、釜 山市内で昼食後、ジャガルチ市 場でショッピングをした後早めに 釜山港に着いた。16時出港予定 ゆえ、のんびりしていたところ、1 5時発の「ビートル」に乗れると言

う。ちょっとあわてたが、トイレに 入っている人にも声をかけ、予定よ り1時間前の15時釜山港発「ビー トル」に乗り17:55博多港に到着 し、3日振りに九州の地を踏んだ。

ところが、到着口から待合室に 入ると、そこには大庭支部長、大 楠副支部長とサンサン山倶楽部 の栗林社長のほかに室津夫人と ご長男も出迎えで来られていた。

当初、我々3名(伊藤、関口、 山田)は、博多港到着後に室津 家を訪問しようと思っていたが、 ここで室津夫人、ご長男とお会い できたので、関口さんより、当日 の事故状況を説明するとともに、 私が背負ってきた室津さんのザ ックをご長男にお渡しした。

今朝ほどの、お嬢さんの話で は、昨夜来の母との電話で涙も 涸れるほど泣きましたと言ってい ましたが、この時の室津夫人は 気丈で、関口さんが本日の昼食 時に書いたメモを見ながらの報告 をしっかり聴いておられたが、最 後に、そのメモを頂きたいとの事 だった。やはり気丈のように見え ても、室津さんの状況をより多く 知りたいとの現れなのでしょう。

報告を終えて、室津夫人とご長 男と別れた後、我々も、何とも切 ない気持ちのまま、博多港ロビ ーで静かに解散したのでした。

「智異山」登山参加者

伊藤 久次郎 (13499)

関口 興洋 (13643)

山田 武史 (13992)

大内 喜代子 (14689)

椋本 逸雄 (14690)

平野 一幸 (14691)

神代 籌子 (北九368)

常代 (北九439) 原田

計 8 人

なお、その後については、次 の通りです。

5月17日、福岡空港 18時50 分着大韓航空で室津さんご遺体 帰国(お嬢さんも同乗)。

5月18日、18時より楠会館で お通夜。

5月19日、11時より同会館で 告別式。

慎んで室津さんのごめい福をお 祈り致します。

> 合掌。 (平成22年6月9日 記)

(追悼記) 北九州支部設立10周年記念登山

室津さん 韓国の地「智異山」に眠る

No.14690 椋本 逸雄

5月15日(土)、午前10時10分 ごろ、突然の出来事でした。智異山 8合目(標高1300%)付近の山荘 で休んでから30分後(登山開始か ら3時間後)の事でした。その時 私は、登り15 伝先にいましたが、 突然金属音 (ストック?) を伴った 異様な音がし、振り返ると室津さ んが倒れ、その前に関口さんと山 田さんがのぞき込んでいる様子が 見え、前後に現地の登山者が立ち 止まっているのを見て、大変なこと が起きたと思いました。

現実を目のあたりにした時は、 信じ難い思いでした。既に意識の ない状態で、ガイドの徳永さん(サ ンサン倶楽部)がかけつけ心臓マ ッサージをし、蘇生しようとしまし たが全く反応がなく、通りかかった 現地の医師(登山中)が瞳孔にラ イトあてて診ていましたが、直ぐに 立ち去りました。話が通じず何を言 ったかわかりませんが、周囲の状況 からダメという雰囲気に見えました。

室津さんはレスキュー隊により、 ヘリで晋州の大学付属病院へと移 されました。そのあと私たちは山を 下り宿舎へと引き上げましたが、 室津さんの死亡が病院で確認され たことを聞きました。

事故現場は、「く」の字状になっ ていて、下ってから登りに入る直前 で倒れたようで、この間のスペー スはタタミ1枚くらいで、石が混在 する足場の悪いところでした。

当初の診断は死因不明で、歩行 中の事故ということもあって、前後 を歩いていた3人に通訳(ガイド) を加えた都合6人が呼ばれ、現地 の警察から約3時間の事情聴取を 受け、宿舎に帰ってきたのが夜8 時過ぎで、それから宿舎で待機し ていた私たち4人と全員で夕食をと ったあと、深夜(12時ごろ)にな って、ようやく死因が「心筋梗塞」 という報が入り、私たちにとっても、 ご遺族の方にとっても唯一の救いと なりました。

翌日 (帰国当日)、遺体の引き 取りに来韓された室津さんのご長 女の方にもお会いし、予定どおり 帰国の途につけたのが何より幸い でした。

今回、渡韓前に年配者が多いと いうことで、現地の李さんという女 性の方 (ガイド兼通訳) の配慮で、 別に男性の山岳ガイドを2人付け、 日本から1人と合わせ4人を配置し、 安全に万全を期していましたが、 不測の事態を避けられなかったこ とは残念です。

今度の非常事態に際し、冷静に かつ、迅速に対応されたこともそう ですが、事後処理にあたり、早期 に解決(死因究明)がはかられた ことは、事情聴取に応じられた関 口さん、伊藤さん、山田さんのご 三方のご配慮とご盡力によるところ

が大きかったと思います。今回の 体験を重く受け止め、今後の山行 につなげていきたいと思います。

私は当支部に入会して4年目に なりますが、室津さんとは主に支 部主催の山行で3~4回ご一緒して

いますが、大変柔和な包容力のあ る人柄で、周囲を明るい雰囲気に 包み込む独特の個性を持っておら れた方で、山岳会にとっても惜し い人を亡くされたと思っています。

一周忌には是非、追悼登山の機

会を設けていただきたいと切に願 っています。

心よりご冥福をお祈り申し上げ ます。 合掌

◇◇◇報告・お知らせなど◇◇◇

クライミングボード付き新ルームの建設を(本部) 平成22年度 第1回支部長会議の報告

(代理) 伊藤 久次郎

- 日時 平成22年6月12日(土)
- 場所 東京 日本山岳会会議室

1. 尾上会長のあいさつ (1時間)

会長就任後1年がたったが、この1年はJACが抱え るいろいろな問題を抽出し、またどうするかを考える 模索の1年であった。その問題点は、簡単に言えば、

- 会員の減少や高齢化
- 会費などの収入の激減

これら2つのことが、JACが抱えるいろんな問題点の 原因になっている。そして私に残されたあと1年をどのよ うにしていくかを、理事たちと考えた結果、次のような4 つのプロジェクトチームを立ち上げた。そして現在、こ のプロジェクトチームは順調に立ち上がっている。

そのチームは、

- (1) 新公益法人法への移行検討チーム
- (2) 若者をいかに取り込むかの、JAC-YOUTH (ジャック ユース) チーム
- (3) 支部活性化チーム
- (4) 山の日制定チーム

である。

これらのプロジェクトチームを協力に推進するために、 次のような点を考えて 推進することにした。

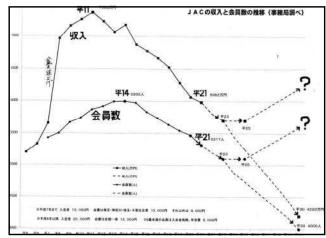
事務局長制度を取り入れ

その1つは、私が経験して感じたことであるが、現 在の事務局の力が弱い。それは、現在の事務局の 仕事を一手に引き受けてやっておられるのは宮崎副 会長であるが、その宮崎副会長も今年1年で任期を 終わる。そのあとがポッカリ穴があき、事務に支障 をきたす。そのために事務局の体制を強化しなけれ ばならない。さらには新しい法人制度の移行問題が 控えていること。これらの実務作業が膨大な量であ って、現在の事務では追いつかない状況である。こ のような理由で、新たに事務局長制度を取り入れよ うと考えている。

収入について

次に収入についてであるが、「JACの収入と会員数の 推移」というグラフを見ていただきたい。グラフの上の 線が収入、下の線が会員数で、収入のピークは平成11 年であるが、その後右肩下がりである。会員数もピー クは平成14年の約6000人から右肩下がりで、平成21 年は5317人である。収入も会員数も、このままでいけ ば、JACは危機的状況を迎え消滅しかねない。これを 黙って傍観しているわけにはいかない。今からいろん な手を打っていく必要がある。グラフの平成23年から の点線が右肩上がりになっているが、これは、1つの方 策として、全会員がいろんな努力で会員を増やしてもら えると、このようになるだろうとの期待を込めての予測 である。 また、 もう1つの方策は、 クライミングボードを 備えた、JACの新しいルームを建設したいと考えている。 これについては2つの問題がある。

1つはJACにとってはなじみが薄いジャンルであるこ と。しかし、このクライミングボード付のルームを設置 することによって、若者が間違いなく増える。それに伴



って収入も増えることになる。クライミングボード付のジムは、現在都内にたくさんありどこも大盛況である。そのジムに匹敵するものが必要である。これらの方策が、果たして良いことなのか、アルピニズムを目指す本来のJACの姿ではなくなるわけである。しかし、このような方法で若者を取り込めば、JACの中に新しい息吹が生まれ、新しい方向付けが出てくると思う。

2つ目の問題は、お金である。この新ルームを作るとなると2億円かかる。しかし現在のJACの財政状況からすれば、到底まかないきれない。それで募金活動をすることになるが、会員の中からの大口募金を期待している。以上のことを推進したいと思っている。

したがって今年度は、もう1度おさらいすると、次の ことを重点に進めたい。

- 4つのプロジェクトチームを強力に推進していきたい。
- 公益社団法人か一般社団法人かの選択を、今年度 中に解決したい。
- JACの新しい事務局長を会長権限で決めたい。
- 永年会員にも会費に代わる振り込みを、個人の自由でお願いするようにしている。
- クライミングボード付き新ルームの建設を検討し たい。
- 秩父宮山岳賞のほかに、卓越した登はんをたたえる JAC山岳賞の設置を考えている。
- 海外登山隊を出したい。
- 年齢、男女を問わず、支部会員をガンガン増やしてもらいたい。
- 支部の活性化を図ってもらいたい。
- JAC-YOUTHの問題であるが、各支部で若い会員 を糾 合して、山に行く機会をつくっていただきたい。 そしてその指導あるいは講師派遣など、本部からも プロの指導員を派遣したいと考えている。

2. コンピューターシステムの交換について

司会の宮崎副会長と多摩支部の斉藤会員から、現在、本部ではコンピューターシステムの交換作業をしている。それによると、今後、各グループや各支部の活動、また一人一人の活動や情報が自由に見られるようになり、本年の夏ごろまでに実用化を目指しているそうである。

3. 新支部長の紹介 (宮崎副会長)

○ 東京多摩支部 竹中 彰

埼玉支部 石橋正美 信濃支部 飯村富彦 東海支部 小川 務 山陰支部 白根 一

○ 本日の会議は、尾上会長の強い意志を連絡 するための会議となった。

4. 公益社団法人改革への対応(吉永リーダー)

社団法人日本山岳会は、創立が明治38年、社団法人になったのが昭和16年である。今年で69年になる最も古い社団法人である。その根拠はすべて民法33条による。ところがこれが全面改正になった。3つの法律が出来た。これが平成20年12月から施行となった。法律では、公益社団法人と一般社団法人とに分かれなければならない。国には多数の法人があり、国の事業仕分けを受けた。我々もその1つに入っている。25年11月30日までに公益社団、公益財団、一般社団、一般財団のどれかに移行するようにと。それができなければ解散となる。

我々が目指す公益社団法人になれば、50%以上を 公益目的にお金を使えと。公益目 的事業とは不特定 多数の者の公益の増進に資する事業であり、有給資産 は1年分だけしか持てない。組織としては、役所の監督 が大変厳しくなる。個人でやって個人のフトコロに入る ような、漢字検定協会みたいなものは一切ダメである。 そして理事会をつくり、理事会の権限は強化され、代 表理事制となる。今の会長が代表理事になると思われ る。そして社員(会員)の厳格化など、厳しく定めてい る。(デメリット)

良い面では、社会的評価が高まる。寄付金の優遇税 制が受けられるようになる。そして収益事業をしても良 い (メリット)。

一般社団法人では、公益社団法人に比べれば、社会的評価は低くなる。しかし活動は自由である。ただし今持っているお金を公益目的事業に使えという。何年かかっても良い。ため込んだお金を180年間かかって使うことが認可になった例もある。それまでは役所が監督指揮する。寄附金の優遇税制はない。このようにプラス、マイナスがある。

3月末現在で、公益社団法人の申請があったのは、 478件。一般社団が114件、新たに発足申請があった もの51件、合計592件(全体の2~3%)。このうち不認 可が1件だけ。取り下げが66件。

最近公益社団法人になったのは、日本グラススキー協会、全日本拳法連盟、珍しいところでは、保土ヶ谷カントリークラブ(ゴルフ場)。また、今まで法人格がなくて一般になり、現在公益法人を申請中の広島県山岳連盟。ほかに日本体操協会、日本ボート協会も公益社団法人を目指して検討中である。類似の団体では、日本山岳協会が公益社団法人を目指すと思われる。東京都山岳連盟は一般を目指している。

私ども委員6人は、理事会から委託を受けて公益社

団、一般社団のメリット、デメリットについて昨年の9月 から検討を始め、その結果を1月29日、中間報告として 理事会あて答申をしたという段階である。今後検討すべ きことはまだたくさんあるので、本年12月までに12回の 会議を開く予定である。既に、いろいろなことについて 検討を始めているが、現在の日本山岳会の活動を変え ずに法人化を目指していきたい。

5. 山の日制定運動について (成川常務理事)

- パンフレットを各支部に配布した。いろんなとこ ろで活用してほしい。
- 数年かけて、国民運動として広めていきたい。
- (質問) 山の日はいつの日がいいのか、案があ るのか (越後支部)

(回答) 現在休日のない月は、6月と8月である。 夏山シーズンである6月、7月、8月のしかるべき 日を山の日にしたいと考えている。

6. 支部活性化について (神崎副会長)

○ 山岳会の現況

会員数 5251人 支部数 30支部

支部 加入者数 3228人 約61.5%

支部未加入者数 2023人 約38.5%

このような体制の中で、どのように支部の活性化をす すめていくかということを、今プロジェクトチームで検討 している。その中で、会員がより多くの日本山岳会の 運営や活動に参画してもらうことが、活性化の基本では ないかと思う。そのためには会員の力を、そして会員 の意識を改めてもらって活性化をはかりたいと思って いる。

○ 第26回全国支部懇談会の開催

期日 2010年9月5日(日)~6日(月)

会場 東京多摩 京王プラザ多摩(多摩センター)

集合 5日(日)13:30現地会場

会費 19,000円 (懇親会、宿泊、山行、他)

山行 6日(月)、高尾山周辺、登山及び散策(5 コース)

締切 7月31日 (但し先着200人で締切)

支部長会議

期日 9月4日(土)13:00~(第1日目)

場所 パルテノン多摩

5日(日) 9:00~(第2日目)

場所 京王プラザホテル多摩

〇 各支部報編集者会議

期日 5日(日)13:00~14:00 場所 京王プラザホテル多摩

○ 支部活性化全国大会(懇談会)

期日 5日(日)14:00~16:30

場所 京王プラザホテル多摩 18:30~懇親会

○ 活性化に関した会員の立場でのレポート 提出を

「会員の声」「会員の主張」として、5分程度のス ピーチから、日ごろなかなか聞けないような意見、 考えを提供してもらい、今後の活性化の方向性、重 要性を探ってみたい。提出していただいたレポート の中から10人ぐらいの会員に全国支部から集まった 会員に朗読発表していただく。

(各支部、2000字前後、提出先 日本山岳会支部活 性化係、期限、8月10日まで)

- 支部員の10%を目標に、会員の増員を お願いしたい。
- 6. 森づくりの会について (藤本副会長) 資料は、会報「山」6月号に出る予定の原稿を参照。
- 7. パソコン関係の利用について(永田理事) パソコンによる通信や利用を大いに活用してもらい たい。今後若者を集めるには、ホームページが有効。

8. 登山道情報の交換に関する協力協定書 (宮崎副会長)

国土地理院測量部と日本山岳会は、国土地理院 が整備する地図における登山道情報の正確性を維持 ・向上させるために、全国の主要な山の登山道に関 する情報を交換することについて、協定を締結したも の。(詳細な協定書や報告書は、支部事務局へ)

自然保護全国集会の報告

関 口 興洋

6月12日(土)~13日(日)、自然保護全国集会が東京で 開催されたが、13日の集会に出席したので報告します。

13日の会場は四谷の上智大学キャンパスを借りて一 般公開され、一般の参加者も多く関心の深さがうかが われた。

基調講演は堂本暁子会員(№5096、前千葉県知事) により「生物多様性と世界自然遺産」をテーマに行われ た。引き続き、日本で世界自然遺産として指定されてい る「知床」、「白神」、「屋久島」について愛甲哲也会員 (北海道支部、北大准教授)、山川陽一会員(自然保 護担当理事)、太田五雄会員(福岡支部、屋久島在住) がそれぞれ現状と問題点を報告した。

〈屋久島の問題点〉 1993年に世界遺産に指定されて以来、入山者が急増し昨年は40万人に達した。縄文杉見物には標高差700mの登山道を歩く必要があるが、中途半端な木道設置による登山道の自然破壊、トイレの不備、ガイドの資質の問題など受け入れに必要なインフラを整備することなく今日に至った。17年間、何一つ解決されていない。

<パネルデイスカッション>

屋久島問題を掘り下げるため、太田さんを含む5人のパネリストによる討論がいろいろな観点から展開された。

- ・基本は土地の問題である。地主並びに地元の人の意 見は反映されるべきである。知床と尾瀬はうまくいって いる。
- ・長期的ビジョンがない。自然保護を推進する核になる 組織がない。行政もメンバーに入った地域調査会を立 ち上げる必要がある。知床には知床財団科学委員会 がある。

- ・林政学の立場からいえば、「整備すればするほど多く の人間が入ってくる」
- ・仕分けにより、環境省のトイレ補助金が廃止された。
- ・自然がおかしくなりつつある。縄文杉は山の世界でなく、一極集中型の観光地となった。この危機的な状況を打開するには、緊急に将来構想を立てることが必要である。
- ・島民の6割は世界遺産に登録されてから、島も山も荒れていると認識している。
- ・トイレと山小屋 避難小屋を撤去することも一案。
- ・入山規制も検討すべきである。
- ・縄文杉コースは木道でよいのか? 石積み工法がよい。
- ・現地へはきっちとしたベストプランをつくり提示すべきである。

<総括>日本山岳会として、今日の議論を屋久島問題解決のための出発点として位置づけ真剣に取り組んで行きたい。

以上

会務報告

今回から、委員会などの結果を報告掲載します。 (報告 磯野)

平成22年5月度 定例委員会報告

日 時 5月12日(水)午後6時から

場 所 小倉商工会館3階会議室

出席者 大庭支部長、伊藤、関口、日向、板倉、 山田、磯野、高畠、室津

欠 席 大楠、馬場

1. 新役員人事に基づく役割・分担

1. 別区長八事に至って民的 万世				
役 職	会員番号	氏 名	役割・分担	備考
支 部 長	11395	大庭 常生	支部長	
副支部長	13465	大楠 益弘	総務·企画	遭難対策
副支部長	13499	伊藤久次郎	広報	
事務局長	13643	関口 興洋	事務局長	
委 員	11427	日向 祥剛	自然保護	
委 員	13471	板倉 健一	山行	
委 員	13532	馬場 基介	会計	
委 員	13992	山田 武史	山行	
委 員	13533	磯野 文雄	総務·企画	
会計監事	13541	高畠 拓生	会計監事	
会計監事	13986	室津 健次	会計監事	

2. 協力委員の委嘱について

氏名	委 嘱 業 務
江頭 精一	ホームページ関係

人見 五郎	JAC-YOUTH関係
原 広美	山行計画立案
西村 信子	山行計画立案
横山 洋子	山行計画立案
内藤 正美	山行計画立案
丹下 洽	山行計画立案
武永 計介	登山教室の講師等

3. 会員の異動と会費納入状況について

関口事務局長から、会員の入会状況について報告があった。併せて、4月20日現在の会員名簿を役員 に配布した

- 4. 10周年記念事業について
 - (1) 協賛金の応募状況について

関口事務局長から、現在高:254,000円(5月10日 現在)である旨、報告があった。

(2) 記念誌の発行について

伊藤副支部長から、原稿管理表に基づき、進捗状況の報告があった。また伊藤副支部長から提起された、誌名及び表紙案について審議した結果、誌名を「ひこさん」に、表紙案は伊藤副支部長に一任することとなった。

(3) 記念行事について

関口事務局長からの提案で、記念登山を英彦山で 実施することとなった。

5. 山行報告

山田委員から、4月17日実施の右田ケ岳山行の報

告があった。

6. 行事・山行計画について

関口事務局長から、5月の岳滅鬼山行の中止及び 6月実施の山行計画の報告があった。

7.「山の日」制定アピールについて

関口事務局長から、各委員に対しパンフレットを配 布するよう依頼があった。

8. 次回支部報の発行について

伊藤副支部長から、原稿の作成依頼がなされた。

- 9. その他
- (1) 関口事務局長から、英彦山山開きの参加者の 確認がなされた。
- (2) 山田委員から提案された、グリーンレンジャー にあてた文書の発送が了承された。
- (3) 関口事務局長から、支部所有の備品リストの 報告があった。 以上(磯野)

平成22年6月度 臨時委員会報告

日 時 6月9日(水)午後6時30分から

場 所 小倉商工会館3階会議室

出席者 大庭支部長、大楠、伊藤、関口、馬場、

板倉、山田、磯野、高畠

欠 席 目向

委員会の冒頭、5月15日に韓国の智異山にて亡く なられた室津健次さんのごめい福を祈り、黙とうがさ さげられた。

1. 韓国「智異山」登山事故報告について

関口事務局長から、『韓国「智異山」登山事故報 告』に基づき、詳細な事故報告が行われた。これに 関連して、大楠副支部長から、山岳会誌「山」の第 705号(2004年2月)に関連記事が掲載されている ので、支部報において紹介することが提案され、了 承された。

2. 故室津健次監事の後任について

大楠副支部長から、急なことでもあり前年度まで監 事をしておられた大城戸昌敏氏を推挙してはどうかと の提案があり、了承された。併せて、本件について は、支部報において、「任期途中の会計監事の交代 は本来、臨時総会を開催して選任する必要がありま すが、今回は緊急事態に対処するために臨時委員会 の決議をもって機関決定としてご承認いただくようお 願い申し上げます」との文をもって告知することが、 了承された。

3. 宮崎支部25周年記念事業について

関口事務局長から、7月17日(土)~18日(日) の日程で記念行事が開催される。(注:今回は、口 蹄疫(こうていえき)のため、内輪だけで実施予定)

4. 会員の異動と会費納入状況について

馬場委員から、会員の入会状況及び会費の納入 状況について報告があった。

5. 会員のデータベース構築について

関口事務局長から、会員のデータベースを構築し てはいかがか、との意見が武永会員から寄せられて いる旨の報告があり、その必要性や個人情報を保護 する観点から、審議を継続していくこととなった。

6. 当会への加入申込書の書式変更について

関口事務局長から、今回の事故や会員のデータベ ース構築に関連して、会員の保険加入状況等を把握 する必要性から加入申込書の書式変更について提案 があり、作成について関口事務局長及び磯野委員に 一任することが、了承された。

7. マイクロバス利用について

大楠副支部長から、免許証のない会員や運転が不 得手な会員に配慮し、マイクロバスを利用した山行 計画を立案することが提案され、山行委員会におい て検討することとなった。 以上(磯野)

会員のみなさまへ

支部長 大庭 常生

会計監事の後任についてお知らせ

このたび、室津健次会員の突然の訃報で、会計監 事の一つが空席となりましたが、その後任について協 議するため、さる6月9日に臨時委員会を開催いたし ました。

その結果、任期途中であった会計監事の交代につい ては、本来臨時総会を開催して選任しなければならな いところですが、今回は緊急のことでもあり、臨時委 員会の決議をもって機関決定とすることとし、後任に は前監事であった大城戸昌敏会員を推挙し、ご本人か らも承諾いただきましたのでお知らせ致します。

平成22年7月度 定例委員会報告

日時 平成22年7月7日(第1水曜日) 18:15~20:35

場所 小倉商工会館3階会議室

出席 大庭、大楠、伊藤、関口、馬場、板倉、 山田、日向、磯野、大城戸、高畠

【会務報告】

- (1) 伊藤副支部長から、6月12日(土) 開催の日本 山岳会平成22年度第1回支部長会議の概要報告 があった。このなかで、9月5日開催の支部活性 化全国大会(第26回全国支部懇)への提言案を 磯野委員が担当することになった。
- (2) 関口事務局長から、6月12日(土)~13日(日) 開催の日本山岳会自然保護全国集会の概要報告 があった。特に、年間40万人が訪れる屋久島で の現状が報告され、官と連携した対策が求めら

れている現状が報告された。

【議 題】

1. 会員の異動と会費納入状況について

馬場委員から、会員の異動報告と会費の納入状況に ついて報告があった。

- 2. 10周年記念行事について
 - (1) 記念式典・記念講演会
 - (2) 記念行事の参加費
 - (3) 本部・支部への案内

関口事務長から、記念式典・記念講演会等の企画及び参加費について意見を求められた結果、参加費について議論されたが、記念誌のコストがまだ未確定なので、今のところ直ちに決定する段階ではなく、大庭支部長をリーダーとする実行委員会(大庭、大楠、伊藤、関口、馬場、日向)で早急に検討していくこととなった。

(4) 記念誌

伊藤副支部長から、原稿、印刷費用等の現状の報告があり、記念誌の発行にかかる経費を支弁するための 方途について各委員から意見が提出された。また、広 告を出す場合でも、依頼する広告先を記念誌にふさわ しい会社等に限定することとした。

3. 山行報告

山田委員から、慎太郎祭りと雨飾山登山(6月4日~7日)及び九重・扇ガ鼻(6月13日)の九重(扇ガ鼻)の登山計画は悪天候のため中止となったことが報告された。

4. 山行・行事計画

各委員(責任者)から、下記山行計画の参加状況等 の報告と山行情報の交換が行われた。

- ① 7月27日(火)犬ケ岳(キツネノカミソリ探勝)
- ② 8月22日(日)祖母山、九重、英彦山、福智山、 森林巡視活動での一斉登山
- ③ 9月4日(土)~5日(日)支部長会議
- ④ 9月5日(日)支部活性化全国大会(懇談会)、締め切7月31日(先着200人)
- ⑤ 9月5日(日)支部報編集者会議、
- ⑥ 9月6日(月)記念山行(高尾山周辺)
- ⑦ 9月22日(水)~26日(日) 槍ヶ岳合流登山、10周年記念山行
- 5.「山の日」制定アピールについて

関口事務局長から、「山の日」制定アピールについて、 福岡支部と打ち合わせを行い、連携して会議や大会で の席上でアピールしていきたいとの説明があった。

6. 支部会員申込書の改定について 関口事務局長から、支部会員入会申込書の改定につ いて説明があった。各委員から種々の意見が提出され、 次回の定例委員会で、磯野委員が改定案(様式)を作成し提案することとなった。

7. 次回支部報の発行について

関口事務局長から、次回の支部報についての意見や 構成箇所の照会がなされ、伊藤副支部長に報告された。

8. その他

- (1) 大楠副支部長から、①林 大輔氏の加入動機について、②企救自然歩道に係る歩道整備箇所の意見聴取について、③大里南市民センター主催の大台ケ原登山(9月17日実施)への支援要請について、それぞれ説明があり、協力や支援を要請された。
- (2) 山田委員から、森林保全巡視員希望者7名 (大内、中岡、小林、平野、大木、林) の報告があり、異例のことながら、8月1日付けで任命される旨の報告があった。 以上

ご案内

北九州支部 創立10周年記念行事

1. 記念式典および記念講演会

と き 10月30日(土) 午後3時(午後2時より受付) ところ 北九州市小倉北区

「アルモニーサンク」(旧九州厚生年金会館)

- 記念講演(一般公開)(午後3時30分~午後5時)講師 日本山岳会会長 尾上 昇 様演題 「ナイロンザイル事件」
 - 井上 靖の小説「氷壁」のモデルとなった事件
- 2. 記念パーティ

と き 10月30日(土) 午後6時より ところ 同上

3. 記念山行

と き 10月31日(日)

ところ 霊峰「英彦山」(1200m)

4. 参加費 1人 18,000円

記念パーティ会費、宿泊費(1泊2食付)、記念品代、 山行費用および保険代など。宿泊しない場合、記念山 行に参加しない場合は、ケースごとに別途参加費を設定 する。

5. 申込み

北九州支部事務局 関口 興洋 宛 別紙のフォームでFAXを。

(TEL/FAX 093-382-6436)

- 6. 締切 8月31日まで
- ※ 参加者には、案内書を送る。

ご案内

東九州支部 創立50周年記念行事

- 1. 記念式典および記念講演会
 - と き 11月6日(土) 午後2時より受付 ところ 大分市庄内町「コンパルホール」
 - 記念講演

講師 石川 富康 氏

最高齢で、世界7大陸の最高峰登頂の話など。コ ンパルホール・市民ギャラリーで「登山資料展示会」 を開催。

2. 記念祝賀会

と き 11月6日(土) 午後6時より

ところ 大分市府内町1-4-28

「大分センチュリーホテル」

- 3. 記念山行
 - とき 11月7日(日)
 - ところ 鶴見岳

A班(山行)コース、B班(観光)コース に分かれ、午前8時大分駅前を貸し切りバス出 発し、午後3時に別府駅で解散予定。

- 4. 参加費 1人 19,000円
- 5. 締切 平成22年9月30日まで
- 6. 参加申込は、北九州支部事務局(関口)まで

エベレスト登頂40周年記念 ヒマラヤ・トレッキングのご案内

1970年5月11日、日本山岳会エベレスト登山隊によっ て、日本人が初めて世界最高峰エベレストの山頂に立ち ました。あれから40年、日本やネパール、カトマンズ の街並みは大きく変わりましたが、ヒマラヤの峰々は当 時のままの姿で聳えています。

日本山岳会海外委員会では、当会支部活性化プロジ ェクトチームと共同で、エベレスト登頂40周年を記念す る "ヒマラヤ・トレッキング" を企画いたしました。

JAC会員の皆さんは"会員価格"でご参加いただけ ます。

企画・立案 (社)日本山岳会(主管 海外委員会、

協力 支部活性化プロジェクトチーム)

旅行企画・実施 アルパインツアーサービス株

株ウェック・トレック ヒマラヤ観光開発株

コース内容

(A) エベレスト展望と4,000m峰登頂 12日間 (カトマンズ~ルクラ~ナムチェ~エベレスト・ビューホテ

期間 11月12日(金)~11月23日(火)

費用 425,000円

(B) ホテル・エベレスト・ビューホテルとポカラを訪

れる 12日間

期間 11月12日(金)~11月23日(火)

費用 475,000円

- (C) ヒマラヤ山脈8,000m峰9座展望とハイキング10日間 期間 11月15日(月)~11月24日(水) 費用 398,000円
- (D) エベレスト・カラパタール登頂(5,545m) 20日間 期間 11月4日(火)~11月23日(火) 費用 482,000円 (テント泊9日間)
- (E) 最速カラパタール登頂(5,545m) 15日間 期間 11月9日(火)~11月23日(火) 15日間 費用 668,000円
- ※ なお、(A)~(E)全コースのトレッキングが終了した 11月21日(日)夜、全コースの参加者がカトマンズのホ テルに集合、40周年記念パーティを開催する。
- ※ 参加希望者は、関口又は伊藤までメール又は電話 かFAX下さい。本部からの案内文書をコピーして送り ます。または、トレッキングの詳細は、JACや旅行企 画会社のホームページでも見ることができます。

門司山歩会 山行計画

No.13465 大楠 益弘

毎度お世話様です。遅くなりましたが、年内の 山行計画を作成いたしました。

5月23日(日) 九重三俣山 門司駅北口7:30発(マイクロバス使用)

6月13日(日) 世貨 門司駅北口8:00発(マイカー使用)

7月25日(日) 竜王山 門司駅北口8:00発 (マイカー使用)

8月22日(日)「山の日」(仮称)登山 英彦山 門司駅北口7:30発(マイクロバス使用)

9月26日(日) 由布岳 門司駅北口7:30発(マイクロバス使用)

10月24日(日)福智山·牛斬山 門司駅2F集合7:30(JR、タクシー使用)

11月7日(日)九重扇ケ鼻岩井川岳 門司駅北口7:30発(マイクロバス使用)

12月5日(日) 門司区30キロウオーキング 門司駅北口7:30発(徒歩約7時間半)

会員異動 (7月 日現在)

1. 新会員

(氏名) (会員番号) (住所) (推薦者) (支部会員)

大輔 北九444 福岡市中央区 (大楠益弘))

2. 物故

室津 健次 No.13986

6. 退会

No.13527 野鳴久美子 No.11860 野嶋 西村 一利 No.13811 末永 No北九417

山行計画のご案内

7 月の山行

犬ヶ岳(1131m) と キツネノカミソリの観賞 (中級)

と き 7月27日(火)

集 合 午前9時、犬ケ岳登山口駐車場

申 込 椋本 (tel,fax 0930-56-3795) まで。

〆切り 7月20日(火)

8 月の山行

森林保全巡視と「山の日」制定PR 一吝登山

森林保全巡視員の協力のもと、九州の主だった山へ の一斉登山を行う。これは、JAC本部が掲げた「山の 日」制定プロジェクトに呼応して、我々も地元にアピー ルと宣伝をする。(チラシ配布など)

① 相母山(1756m)テント泊 (中級)

と き 平成22年8月21日(土)~22日(日)

北谷~祖母山~風穴経由~北谷 コース

出 発 21日(土) 小倉、午前11時ごろ

上畑あけぼの塾1200円。シュラフ持参 宿泊

申込み 原 広美 fax,tel 083-245-5490

交 通 マイカー

切 8月11日

② 英彦山(1200m)縦走 (中級)

き 8月22日(日)

集 合 別所駐車場 9:00

室津さんをしのぶ会

7月28日(水)のサロンは、智異山で突然亡くなられ た室津健次さんをしのぶ会とします。

サロン ルーム

毎月第4水曜日

7月のサロンは、28日(水) (室津さんをしのぶ会)

8月のサロンは、25日(水) 9月のサロンは、22日(水)

時間 午後6時30分から

場所 小倉北区魚町「コール天」

(魚町銀天街、酒房武蔵より西へ約30m)

費用 3,000円前後(ワリカン制です)

コース 別所駐車場~奉幣殿~中岳~南岳~ 鬼杉~奉幣殿~別所駐車場

申込み 西村 信子 fax,tel 0930-33-4618

締切り 特になし。当日参加OK。

③ 九重山(黒岩山、泉水山)(中級)

と き 8月22日(日)

集 合 長者原 駐車場 9:30

コース 牧ノ戸〜黒岩山〜泉水山〜長者原

解 散 長者原の温泉で入浴後、15:00現地解散

申込み 山田武史 tel,fax 092-844-3563

締 切 8月11日

④ 福智山(901m) (中級)

と き 8月22日(日)

集 合 内ケ磯 鳥野神社駐車場 9:30

コース 内ケ磯~上野越~福智山~烏落とし~ 大塔の滝〜駐車場

解 散 14:30 駐車場にて解散(入浴は随意)

申込み 中岡邦男 tel.fax 0949-26-6823

締 切 8月11日

9 月の山行

支部10周年記念山行

北アルプス槍ケ岳合流登山(上級)

と き 9月22日(水)~25、26日(日) 26日までは、笠ケ岳班のみ。

締 切 7月末

担 当 山田武史

※詳細な計画については、各会員に配布済

10月の山行

九重・男池〜大戸越〜吉部(中級)

と き 10月23日(土)

集 合 男池駐車場 午前9時

申込み 西村信子(0930-33-4618)または 山田武史(092-844-3563)まで。

締切 10月15日(金)

編集後記

○ 今回は、報告ものが多く、 20ページとなりました。ま

た今回から、支部委員会の会務報告を掲載すること にしました。次回から内容については、もう少し簡 略化することにします。

Q

○山の原稿は、

〒826-0032 田川市西平松11-8 伊藤久次郎宛。TEL/Fax 0947-42-2772 Eメール原稿(写真も含む)は、

アドレス rw4ux6@bma. biglobe. ne. jp です。